

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中で当たり前生きていくという、事業所の理念があり、事業所の方針が共同棟の目のつく場所に掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフミーティングや職員会などで、理事長やホーム長の目指すものについての話が頻繁行なわれており、理念については職員間で共有できていると感じる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会の一軒の家としての考え方をもち、ふれあい福祉広場や中組の祭り、村の祭りなどに積極的に参加して、交流を深めている。		徘徊行動のある入居者の方に散歩という形で付き添い、地域や家族との交流ができしており、今後もその継続・発展に期待したい。地域の草取り等の役割への参加も上手く活用することを期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員全体が自己評価することで、入居者の支援に対して反省するなど振り返ることができる。評価することにより足りない部分が見え、これからの仕事に活かすことができると考えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>麦の家では、4名の推進委員の方に、理念から実践現場の実情と課題についての理解を深めて頂く段階にある。また、認知症の理解を特に深めていきたいと考えている。</p>		<p>運営推進会議のメンバーが、意欲的に取り組むことができるためには、具体的にどんな方法があるのか模索し実践を期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>推進委員会同様に事業所の理解を深めていく段階である。</p>		<p>村の担当者と現場職員との間で、グループホームについて様々な現状を取り上げ、話し合う機会が多くなることを期待したい。</p>
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ケアプラン担当者を中心に、主任と共に利用者の様子（ケアプラン、健康状態、金銭管理等）を伝えることができている。</p>		<p>入居者の暮らしぶりの中でのささいな言動でも、離れている家族へ伝わるようになり取り組みを期待したい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者家族アンケートの内容はとても良好であり、家族から直接不満を聞くことができない。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員が突然の病気や事故で欠勤した場合、他の職員からの自発的な努力による補充がなされている。同時に管理者が緊急に職員を充当してくれている。職員の退職者（離職率）が少なく、安定した支援が行なわれている様子が伺える。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>現任訓練として、個別的スーパービジョンを運営・管理者により行われている。また、通信教育等を受けるための、法人独自の育英資金制度が設けられている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月に一度事例研究会が設けられており、地域の他の事業者の方々の意見を聞いたり、勉強会や交流を行っている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用して頂く前に「お試し」として、日帰りや宿泊をして頂き、ホームの雰囲気を知って頂くようにしている。本人と家族にそれぞれ意見を聞き、納得した上での利用となっている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居した利用者に対しては、一緒に過ごすことができているが、介護される一方の立場におかずというのは、日常の過ごし方に工夫が必要だと感じる。「おだやかな生活の確保」という点でとても良い対応をしている。</p>		<p>レベルの高い介護が行なわれているが、認知症を理解することと、共感することの違いについて更に学びを高められるように期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者一人ひとりの日常の中から、どのような思いをされているか聞く姿勢や対応が感じられる。ご本人が自分の思いを伝えることが難しい方の思いを把握することは難しく、これからの課題となっている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の方の思いや意見聞き、スタッフ同士や看護スタッフの意見交換を行い、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の体調の変化に合わせて、月々のケアのあり方を考えると共に、スタッフと話し合いながら新しい計画をたてている。また、介護計画の期間に応じて、見直しを行うことができている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>グループホームという小規模生活形態を活かし、入居者の方にとって必要なケアを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人が長年かかってきた医師との関係を大切にし、医療を受けられるようにしている。GHにかかりつけ医がいるため、納得が得られた上で、そこで医療が受けられている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期については、本人や家族の意向を聞いており、医師から日常生活の注意などの指示を仰いでいたり、相談できている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>普段利用者がいる場所に個人記録が置いてあり、入居者の前で記録を書くこともあり、プライバシーを損ねていないか気になっている。また、言葉かけや対応が、そっけなくなってしまうことがある。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者一人ひとりを大切にする暮らしが行なわれているが、職員の数が日によってすくないことがあり、本人のペース添えないことがある。その日をどのように過ごしたいか、本人の希望を受け止め、実行することができていない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と食事作りやおやつ作りを一緒に行ったり、ゆったりとした食事ができている。また、食器ふきなどを一緒に行っている。後片づけの際あわただしくなってしまう、一人ひとりのペースに合わせられないことがある。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	自宅での習慣をできるだけ続けられるよう入浴して頂いている。職員の人数によって、入浴できない方が出てしまい、人数が限られてしまうことがある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者が食事作り、食器ふきなどできる所を職員と一緒にこなしている。生活の中で入居者一人ひとりに合わせた役割の支援が難しい。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望を聞いて出かけるということは十分できていないが、外出や買い物などに出かけられるようにしてある。利用者の外出回数にばらつきがあり、偏りが出てしまう。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害については十分理解して慎重に対応しているが、スタッフの人数が足りない時や、一人の方のケアに集中して全員の動きを把握できない時に、安全のため居室に入って頂き、鍵をかけることがある。		階上から観察できる仕組みの中で、一部の人に一時的処遇として鍵をかけることがあるが、様々な観点からの観察を行ない処遇に活かしていくことを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時の避難訓練はしているが、認知症という独自性から考えても夜間の訓練は難しい。緊急時の連絡については理解している。</p>		<p>地域の方々の協力を得られるように、なじみの関係を樹立されることに期待したい。夜間の避難訓練を含め、回数を重ねられることに期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事がとれるようにふりかけをかけたり、介助をして量の摂取はできている。水分量はお茶をなかなか飲まない方に、声かけ介助を行っている。また、ゼリーなどを食べて頂き水分を補充するなどの工夫が見られる。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>冬はコタツを出して生活感を取り入れている。共同棟はすぐに横になって休むことができるので、過ごしやすいと思う。掃除が行き届かないことが多い。</p>		<p>各戸建ての住居では、掃除も他の施設に比べると困難が多いと思われるが、家族会、ボランティア等の導入の工夫も期待したい。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していた家具や小物などを持ってきて頂き、使い勝手が良く今までの環境に近い居室になるようにしている。表札やポストを用意していただき、自分の家として過ごして頂いている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。